

ブルーベリー赤色輪点病（BRRV）の発生について

1 発生の経緯

平成21年10月、宮城県内のブルーベリー「シエラ」から、岩手大学農学部磯貝准教授がブルーベリーレッドリングスポットウイルス(以下BRRVと略)を検出したとの情報があり、平成22年7月に当該ほ場の調査を行い、宮城県農業・園芸総合研究所バイオテクノロジー開発部で遺伝子診断(PCR法)を行った結果、「シエラ」からBRRVが検出された。本ウイルスは「シエラ」のみで確認されたが、平成20年に千葉県では「シエラ」、「デューク」、「ブルーレイ」、「ウェイマウス」、岩手県では「シエラ」、「デューク」、「ダロウ」で発生が確認されている。本県での発生は初確認である。

2 発生状況

- (1)発生作物 ブルーベリー
- (2)発生品種 シエラ
- (3)病害名 ブルーベリー赤色輪点病
病原ウイルス *Blueberry red ringspot virus* ; BRRV

3 本病の伝染経路及び病徴

- (1) 現在(平成22年11月現在)のところ、伝染方法は未解明である。
- (2) 葉の症状は、品種や環境条件によっても異なるとされているが、「シエラ」では9月以降に顕著に現れ、葉の表側に直径3mm～5mm程度の赤い輪点が見れる。葉の裏側には病徴はほとんど見れない(図1, 2)。
- (3) 果実は、成熟期に円形の病斑が見れ、まだらに着色したようにみえる(図3)。



図1 葉の症状(10月)



図2 葉の症状(11月・紅葉時)



図3 果実の症状(7月)

4 防除対策 (平成22年度末現在)

- (1) 感染樹からの増殖は行わない。
- (2) 感染樹は抜き取り、適切に処分する。